

中国で、500億円の驚異的な大ヒットを記録。 金馬奨ほか国内映画賞レースを席巻した 話題作が遂に公開!



2014年に中国で実際に起きた事件を元に製作された本作は、2018年7月、中国で映画が公開されると、3日間で9億元(約146億円)、最終的に30億元(約500億円)を超える爆発的なヒットを記録した。また、興行的な成功だけでなく、アジア・フィルム・アワード・助演男優賞、金馬奨・主演男優賞、新人監督賞、オリジナル脚本賞の3部門受賞をはじめ、国内外の映画賞を数多く受賞。薬を密輸する主人公を演じたのは、監督としても活躍するシュー・ジェン(徐崢)。その他、ワン・チュエンジュン(王伝君)、『スプリング・フィーバー』のタン・ジュオ(譚卓)、『象は静かに座っている』のチャン・ユー(章宇)などが脇を固める。監督は、岩井俊二などが監修したオムニバス映画『恋する都市5つの物語』のウェン・ムーイエ(文牧野)。

何が"ホンモノ"で、何が"ニセモノ"なのか問われる、中国医薬業界に激震が起きた実話のニセ薬事件。

上海でインドの強壮剤を販売する店主チョン・ヨン (程勇) は、店の家賃さえ払えず、妻にも見放され、人生の目標を見失っていた。ある日、店を訪れた慢性骨髄性白血病を患うリュ・ショウイー (呂受益)から、国内で認可されていないインドの安価なジェネリック薬を購入して欲しいという依頼を受ける。最初は申し出を断ったものの、金に目がくらんだチョン・ヨン (程勇) は、ジェネリック薬の密輸・販売に手を染め、より多くの薬を仕入れるため白血病患者が集まるネットコミュニティ管理人のリウ・スーフェイ (劉思慧)、中国語なまりの英語を操るリウ牧師 (劉牧師)、不良少年のボン・ハオ (彭浩) が加わり、事業はさらに大きく拡大していくが、警察に密輸として目をつけられ始め、グループは解散に。しかし、薬を絶たれた患者たちの悲痛な叫びに、チョン・ヨン(程勇)は決意を固め、患者の負担を軽くするため仕入れ値以下の価格で再び薬を売り始める。あえて危険な仕事を続ける彼に待ちうける結末とは・・・・











〈陸勇事件〉

映画の元になった実話のジェネリック医薬品密輸入事件の 通称。インドから安価なジェネリック薬を購入していた慢性 骨髄性白血病患者の陸勇が、2014年に逮捕されるも、裁判 撤回の市民デモが発生し、翌年に釈放。この事件と映画公開 をきっかけに、中国医薬業界に変化が起きた。 監督・脚本:ウェン・ムーイエ(文牧野) 共同製作:ニン・ハオ(寧浩) シュー・ジェン(徐輝

出済:シュー・ジェン(徐峥) ワン・チュエンジュン(王伝君) ジョウ・イーウェイ(周一囲) タン・ジュオ(譚卓) チャン・ユー(章宇) ヤン・シンミン(楊新鳴)

中国 / 2017年 / カラー / 北京語-英語 / 117分 / ビスタ / 5.1ch / 原題 : 我不是薬神 日本語字幕 : 水野衛子 配給 : 株式会社シネメディア ©2020 Cine-C. and United Smiles Co., Ltd. All Rights Reserved

10月16日(金)公開